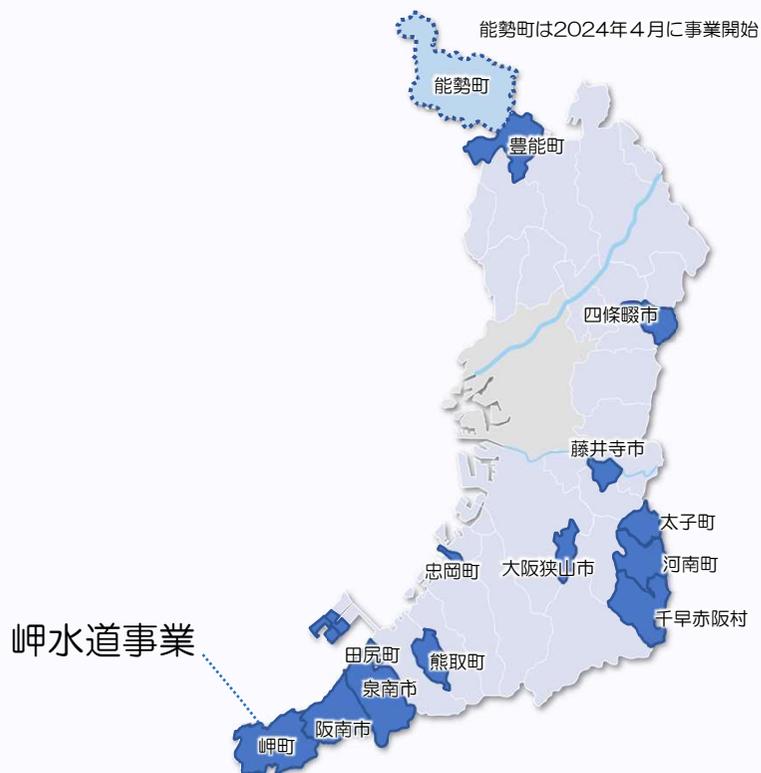


2023年度の主な取組

市町村域水道事業（13水道事業）

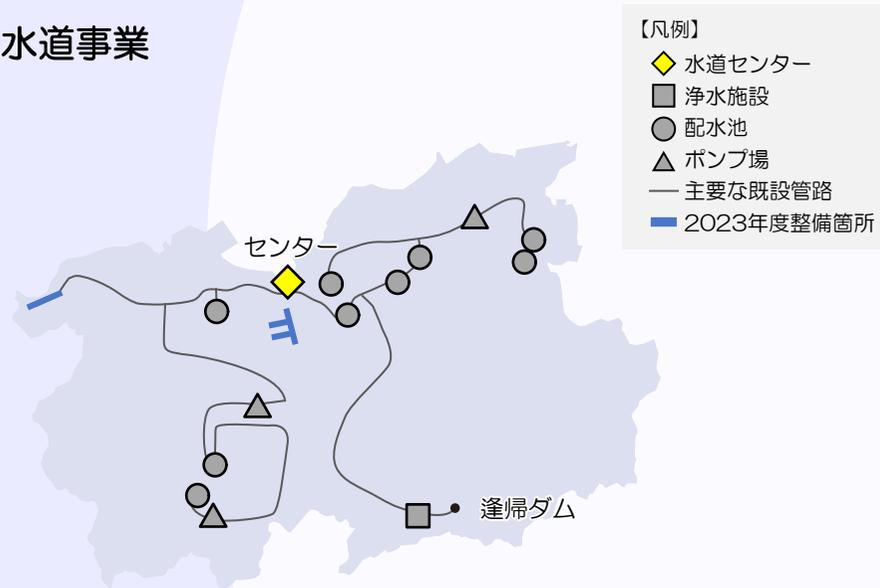


市町村域水道事業の耐震化目標について教えて！

各水道事業で施設や財政等の状況を考慮し、「老朽度」や「管の種類」などから優先すべき施設整備や管路の更新・耐震化を計画し目標を設定しています。

また、一部の水道事業で管路の耐震管率の目標が基準年度と同じ値になっているのは、耐震管以外でも「布設された地盤の状況などから耐震性があると評価できる管」があり、これらが更新基準年数を経過していない場合は、計画期間中の更新を見込んでいないためです。

岬水道事業



	基準年度 (2021年度)	2022年度 実績	2023年度 実績	目標 (2029年度)
管路の耐震管率				
基幹管路	11%	11%	11%	26%
重要給水 施設管路	2%	2%	2%	18%

2023年度の執行額は1.5億円で、実施した主な事業は次のとおりです。



管路の更新・耐震化

- 配水管布設替工事（淡輪地区）2工区
更新時期を迎えた管路の更新・耐震化を実施しました。

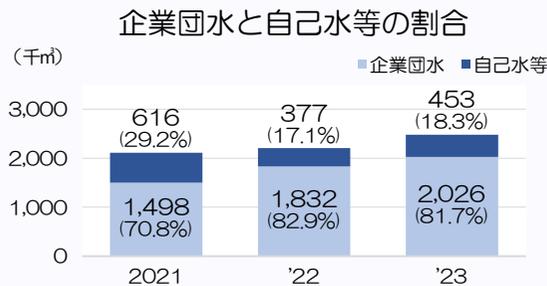
2023年度
執行額 55百万円

その他の取組

- 4水道事業（泉南、阪南、田尻、岬）の集中監視制御設備の整備を実施しています。

■ 岬水道事業

給水人口や給水量の推移



2023年度末の給水人口は14,462人で、前年度と比べて235人(1.6%)減少しています。また、給水戸数は7,413戸で20戸(0.3%)減少しています。給水量は2,479千m³で、前年度と比べて270千m³(12.2%)増加しています。

財政収支

(単位：百万円、税抜)

収益的収支	2022決算(a)	'23決算(b)	差引(b)-(a)
収 益	441	434	△ 7
給水収益	344	384	40
長期前受金戻入	36	37	1
その他収入	61	13	△ 48
特別利益	-	-	-
費 用	445	472	27
維持管理費	315	344	29
減価償却費等	118	118	0
支払利息	12	10	△ 2
特別損失	0	0	0
単年度損益	△ 4	△ 38	△ 34

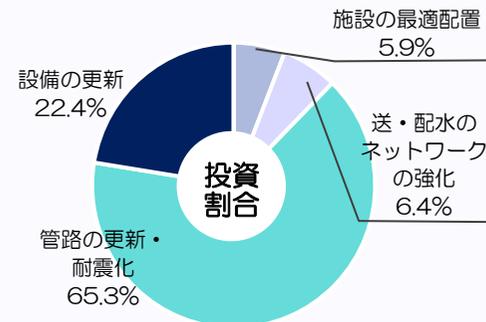
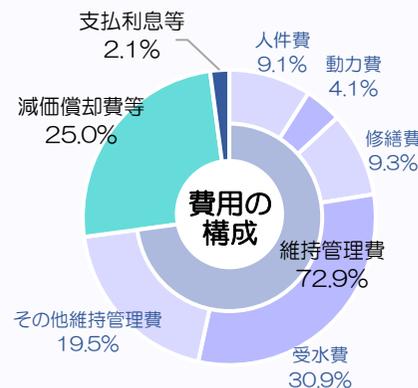
(単位：百万円、税込)

資本的収支	2022決算(a)	'23決算(b)	差引(b)-(a)
収 入	224	268	44
企業債	110	109	△ 1
国庫補助金等	51	19	△ 32
その他収入	63	140	77
支 出	334	267	△ 67
建設改良費	191	152	△ 39
企業債償還金	123	95	△ 28
その他支出	20	20	0
収支の差額	△ 110	1	111

*収支の差額については、積立金等で補てん

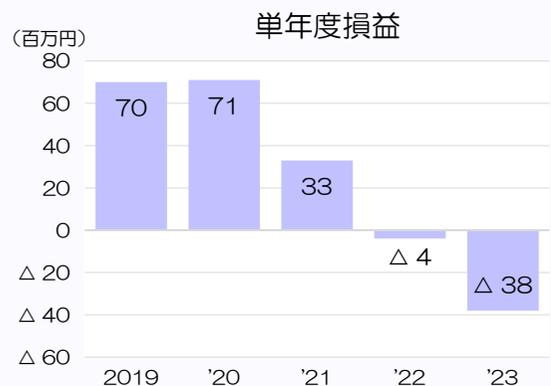


収益は、水道基本料金の減免の終了により給水収益が増加した一方、その他収入が減少したことなどにより、前年度と比べると7百万円減少しました。費用は、修繕費や受水費の増加により維持管理費が増加したことなどにより、前年度と比べると27百万円増加しました。これらの結果、単年度損失は前年度に比べ34百万円増加し、38百万円となりました。



※投資割合は建設改良費の内訳のことで、

財政収支の推移



経営評価

○：計画を達成 △：計画を概ね達成（計画値との乖離が5%未満） ×：計画を未達成



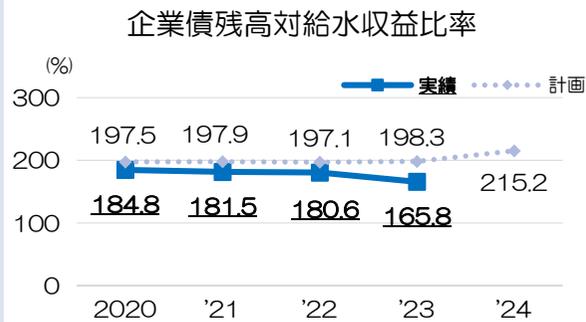
達成状況	2020	'21	'22	'23	'24
	○	×	×	×	

〈算出式〉 経常収益 / 経常費用 × 100

給水収益や繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表し、100%以上となっていることが必要です。

計画と比べ、修繕費や受水費などの維持管理費が増加したことから、2023年度の実績は、計画を達成できませんでした。また、前年度と比べても維持管理費が増加したことから、7.0ポイント減少しています。

【参考:2022年度類似団体平均値107.2%】



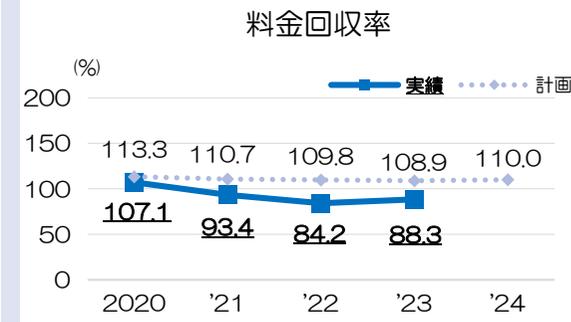
達成状況	2020	'21	'22	'23	'24
	○	○	○	○	

〈算出式〉 企業債現在高合計 / 給水収益 × 100

給水収益に対する企業債の割合であり、企業債残高の規模を表します。明確な数値基準はなく、経年比較や類似団体比較等により適正な数値となっているかをみる指標です。

2023年度の実績は、計画を達成しました。また、前年度と比べ、給水収益が増加したことから、14.8ポイント減少しています。

【参考:2022年度類似団体平均値438.4%】



達成状況	2020	'21	'22	'23	'24
	×	×	×	×	

〈算出式〉 供給単価 / 給水原価 × 100

※供給単価 = 給水収益 / 有収水量

給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表します。

計画と比べ、給水収益は増加したものの、修繕費や受水費などの維持管理費の増加が上回ったことから、2023年度の実績は、計画を達成できませんでした。なお、前年度と比べると、給水収益が増加したことから、4.1ポイント増加しています。

【参考:2022年度類似団体平均値91.0%】